

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横浜市立寺尾小学校] 担当教諭名 [竹田 まどか] (4年1・2・3組 97名)
 相手国・地域 [ウガンダ]
 海外学校名 [Nalinya Lwantale Girls' Primary School] 担当教諭名 [奥田 桃子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	共生	30
	国語	「ランドセルは海をこえて」	5
	社会	「水はどこから」	11
	理科	「地面を流れる水のゆくえ」	5
	図画工作	「言葉から形・色」「これでえがくと」	6
	外国語活動	Unit3 じこしょうかいをしよう What do you like ?	3
	特別な教科 道徳	国際理解・国際親善「世界の小学生」	1

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	かけがえのない水 ～わたしたちをつなげている～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	水の取り巻く環境は、ウガンダと日本で同じところと違うところがあるけれど、その水を安全に飲めるように、使えるようにするために自分達ができることをやってみよう。海や川の生物が安心して生息できるようにもしたいから。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて理解し、自分達が向き合い、できることは何かを意識し、行動できた。 ・国際理解学習でまだ関わったことが無い国と関わることで、ウガンダについて興味をもって知ろうとしていた。 ・自分の学びが自分だけでなく人のためになると知り、その伝え方の難しさと大切さに気付いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダのエボラ熱による休校や担当者の体調不良による連絡不通などの状況に応じて、先々と進めていく必要性を痛感した。 ・ウガンダの現状や情勢について、児童が想像しにくい部分はできるだけ説明したり、画像などを見せたりしたが、驚きが強すぎたようだった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsはどの国にもそれぞれの課題があり、そのために自分達ができることは何かを考えて、行動することの大切さを知った。 ・自分達の習ったことがまだ知られていないこともあるのだと分かり、当たり前だと思っはいけないことに気付けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダの児童と直接的な会話が困難であっても、歌や動作だけでも映像から伝わることは雰囲気や空気感など沢山あることを実感した。 ・翻訳機能の扱い方を児童に指導することで、日頃の日本語の文章も伝わるように書こうとする態度が児童から感じられた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsって？；自分達ができることは何 ・Zoomによる交流 ・上下水道などの水の流れを知る ・地面を流れる水のゆくえと水のろ過 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の意味を初めて知った。 ・日本の歌を歌ってくれて、びっくりした。 ・日本にもまだ下水道が整っていないところがあるのは、ウガンダと同じだね。 ・地面の下で水は少し浄化しているんだね。 	総合9 外国語3 社会11 理科5
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習からわかったこと；夏休みにしたこと紹介 ・ランドセルの海外へのリユース活動 ・世界の小学生の日常について 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を一つに絞ってSDG1を調べたら、親戚の伯父さんが海外支援をしていたから話を聞いた。 ・ランドセル以外にも運動靴や服もリユースがあるよ。 ・ウガンダとも日本とも違うね。 	総合9 国語5 道徳1
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダの友達と自分達の思いをまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで調べたことや互いの国の違いを知ったことから話し合いをしたら、自分達がどうすべきか見えてきた様な気がする。学んでいることが自分や誰かの今後の問題を解決するんだね。 	総合9
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・思いをどのような絵にすればよいか、形と色、構図の検討 ・壁画制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダは自然豊かな国だから、日本とつながる部分を考えてほしいと思う。運動会で見た大漁旗みたいになりたいな。 ・大きい布に描くの、初めて。わくわくするな。 	図工6 休み時間
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画披露、鑑賞 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダの国旗にいる鳥がいるね。アイデア通りに短期間でしっかり描いているから、集中力がすごいよ。 ・遠く離れていても互いのつながりを感じたね。 	総合3

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5：とてもついた 4：ついた 3：どちらともいえない 2：あまりつかなかった 1：つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	ウガンダについて紹介しているサイトを調べたり、ウガンダと関わったことがある方に来校してもらい話をきいたりしたことで、ウガンダに興味をもった。日本の現状だけでなく、過去の日本の状況にも関心をもち、どう日本が変わったのかを理解し、ウガンダとの相違点を探れた。
主体的に考え行動する力	5	ウガンダの取り巻く環境と現状について交流を通して知ること、自分が習ったことや調べたことが役立つのではと考えた。そのことを伝えたことで、ウガンダの友達がそれらに取り組んでくれたことを喜び、誰もが知っている訳ではないことに気付けた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	ウガンダには、なぜ水に関わる問題があるのかを疑問に思った。地図で見たヴィクトリア湖はどんな湖なのか気がなり、交流を通して上下水道等が整っていないことを知った。自然と共に生きることの難しさおよびよさについて考えることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	ウガンダからの意見に対して、どうしてそのような意見が出たのかと、その背景を知りたいと思う児童が多く、「テーラー(仕立屋)って、何？ どうしてなりたいの？」等と相手の意見に寄り添う意見が多かった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	ウガンダからの意見や絵のアイデアを基に、自分達のこれまでの取り組みや今後に対する思いを波しぶきに見立てて文字を添えたり、未来をつなぐ架け橋を虹に込めたりと、意見を出し合い、どんなものを描いたらよいかを検討して構図や色合いを決めていた。